

議案第 35 号

辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画の策定について（安住寺辺地）

安住寺辺地に係る総合整備計画を別紙のとおり策定したいので、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律（昭和 37 年法律第 88 号）第 3 条第 1 項の規定により、議会の議決を求める。

令和 3 年 2 月 24 日提出

南あわじ市長 守 本 憲 弘

総 合 整 備 計 画

兵庫県 南あわじ市 安住寺辺地
(辺地の人口 147 人 面積 2.6 k m²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する市又は字の名称 南あわじ市倭文安住寺
- (2) 地域の中心の位置 南あわじ市倭文安住寺 557 番地 5
- (3) 辺地度数 123 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

安住寺辺地は市の北部に位置し、倭文地域の山間部にある農村集落である。

【道路施設】(市道背道線外 1 路線 (倭文46号線) 道路拡幅改良事業)

本辺地内における市道背道 (せみち) 線及び倭文46号線は、現況幅員W=3.0m程度の山間部を通る比較的狭小な市道である。

県道倭文五色線及び市道筑穴供養石線へ接続する連絡道としての役割を担うネットワーク的な道路として、近隣住民に通行利用される重要な路線である。

しかしながら、幅員狭小のため、相互通行が不可能であり、かつ道路背後地が自然法面である状態により、降雨等風水害時においても崩土、倒木等による通行不能の懸念があり、安全なネットワーク的な道路としての機能がなされていない状況にある。

このことから、本事業により、車両等の快適、スムーズな通行の確保に加え、安全性を考慮した道路改良を行うことにより、周辺地域住民に通行時の安心感を与えるとともに、地域全体の重要な交通網として整備することにより、地域の振興に大きく寄与することができる。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度から 5 年間

(単位 千円)

| 施設名 | 事業主体名 | 事業費 | 財源内訳 | | 一般財源のうち 辺地対策事業債の予定額 |
|------|-------|---------|------|---------|------------------------|
| | | | 特定財源 | 一般財源 | |
| 道路施設 | 南あわじ市 | 141,000 | | 141,000 | 141,000 |
| 合 計 | | 141,000 | | 141,000 | 141,000 |

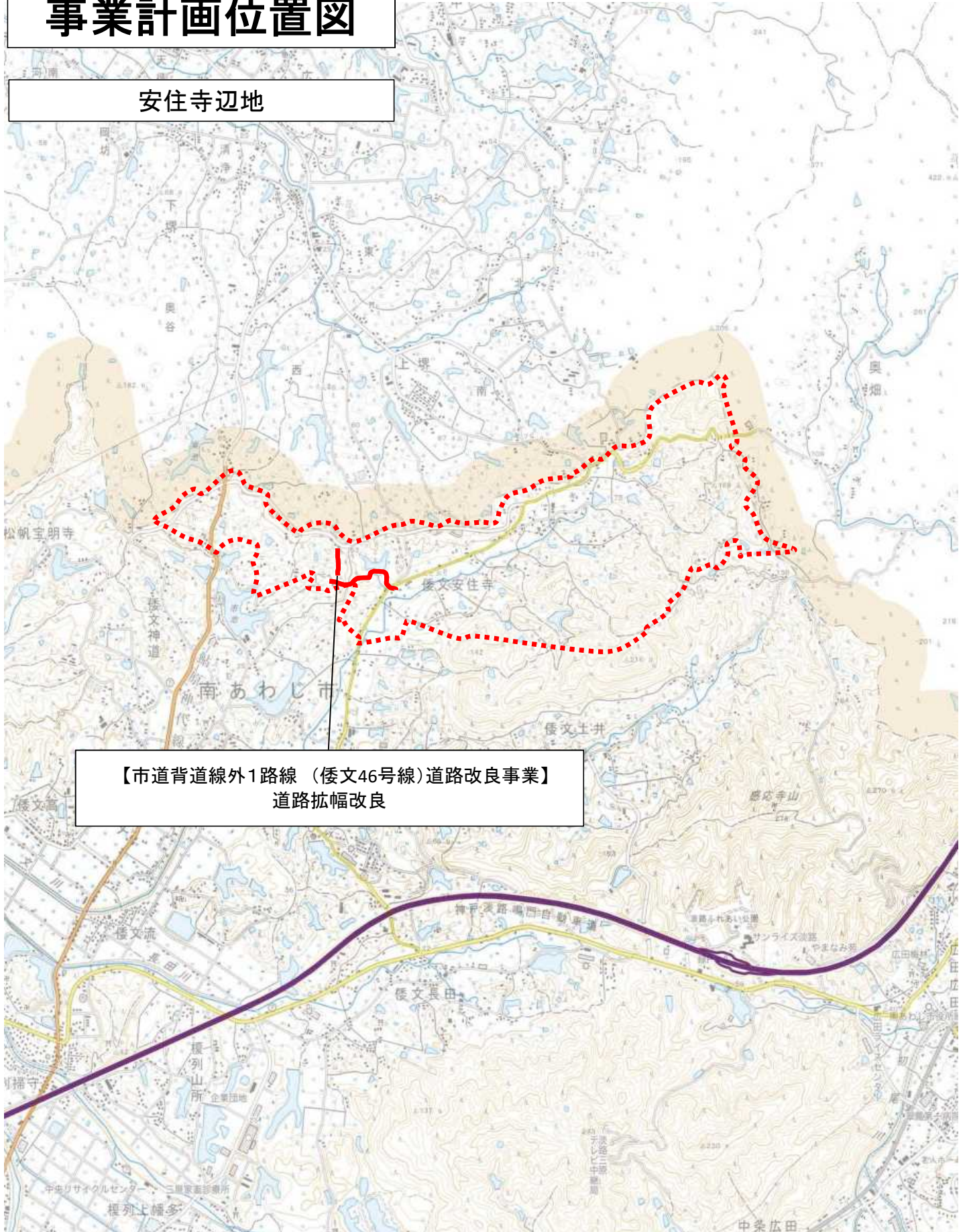
| 事業名 | 事業内容 | 全体 | | | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | | | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|---------|------|---------|---------|-------|------|-------|---------|--------|-------|--------|---------|--------|------|--------|---------|--------|------|--------|---------|--------|--|--------|--------|
| | | 事業費 | 財源内訳 | | 辺地対策事業債 | 事業費 | 財源内訳 | | 辺地対策事業債 | 事業費 | 財源内訳 | | 辺地対策事業債 | 事業費 | 財源内訳 | | 辺地対策事業債 | 事業費 | 財源内訳 | | 辺地対策事業債 | | | | |
| | | | 特定財源 | 一般財源 | | | 特定財源 | 一般財源 | | | 特定財源 | 一般財源 | | | 特定財源 | 一般財源 | | | 特定財源 | 一般財源 | | | | | |
| 市道背道線外1路線 (倭文46号線) 道路 改良事業 | 道路拡幅改良 L=680m W=4.0(5.0) m | 141,000 | | 141,000 | 141,000 | 4,000 | | 4,000 | 4,000 | 17,000 | | 17,000 | 17,000 | 36,000 | | 36,000 | 36,000 | 52,000 | | 52,000 | 52,000 | 32,000 | | 32,000 | 32,000 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | 141,000 | | 141,000 | 141,000 | 4,000 | | 4,000 | 4,000 | 17,000 | | 17,000 | 17,000 | 36,000 | | 36,000 | 36,000 | 52,000 | | 52,000 | 52,000 | 32,000 | | 32,000 | 32,000 |

(記載要領)

- 1 辺地ごとに作成すること。
- 2 事業名には、具体的名称(町道○○線等)をあげること。
- 3 事業内容については、計画期間内のものを記載すること。
- 4 本表の辺地対策事業債の算出にあたっては、100%充当とすること。

事業計画位置図

安住寺辺地



【市道背道線外1路線（倭文46号線）道路改良事業】
道路拡幅改良

(別表第2)

辺地総合整備計画策定(変更)に係る理由書

| 市 町 名 | 南あわじ市 | 辺 地 名 | 安住寺辺地 |
|--|-------|-------|-------|
| <p>○辺地の概要</p> <p>当該辺地地区は市の北部に位置し、倭文地域の山間部にある農村集落で、世帯数 61 戸、人口 147 人、面積 2.6 ㎩の辺地である。</p> <p>○道路施設(市道背道線外 1 路線(倭文 46 号線)道路拡幅改良事業)</p> <p>①必要性</p> <p>県道倭文五色線及び市道筑穴供養石線へ接続する連絡道としての役割を担うネットワーク的な道路として、近隣住民に通行利用される重要な路線である。</p> <p>②緊急性</p> <p>幅員狭小のため、相互通行が不可能であり、かつ道路背後地が自然法面である状態により、降雨等風水害時においても崩土、倒木等による通行不能の懸念があり、安全なネットワーク的な道路としての機能がなされていない状況から早急な整備が必要である。</p> <p>③事業効果</p> <p>車両等の快適、スムーズな通行の確保に加え、安全性を考慮した道路改良を行うことにより、周辺地域住民に通行時の安心感を与えるとともに、地域全体の重要な交通網として整備することにより、地域の振興に大きく寄与する。</p> | | | |

(記載要領)

まず、総論について記述し、その後各事業ごと(道路なら個別路線ごと)に、①必要性、②緊急性、③効果について詳述すること。

議案第 36 号

辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画の変更について（吉野
・惣川・黒岩・白崎・来川辺地）

吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地に係る総合整備計画を別紙のとおり変更
したいので、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等
に関する法律（昭和 37 年法律第 88 号）第 3 条第 1 項の規定により、議会の議
決を求める。

令和 3 年 2 月 24 日提出

南あわじ市長 守 本 憲 弘

総合整備計画

兵庫県 南あわじ市 吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地
(辺地の人口 167 人 面積 7.4 k m²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する市又は字の名称

南あわじ市灘吉野、灘惣川、灘黒岩、灘白崎、灘来川

(2) 地域の中心の位置

南あわじ市灘吉野 400 番地

(3) 辺地度点数

128 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地は市の南部に位置し、灘地域の中中部で海岸沿いにある漁村集落である。

【道路防災施設】(市単独道路橋梁維持事業)

当該辺地地区は、集落へ通ずる唯一の市道である市道白崎本線を生活基幹道路として通行しているが、比較的多量の降雨時、また風水害時において山側より土砂が本道路に崩落し、通行止めなど車両通行に支障をきたしている。

特に災害時は、緊急輸送物資の搬入や、応急的な復旧に際し緊急車両等の通行確保が重要かつ不可欠であることから、早急に整備する必要がある。

道路防災施設(落石防護柵)を整備することにより、道路への崩土が抑止され、良好な通行が確保されるとともに、災害時における迅速かつ効率的な復旧作業も可能となる。

【園地施設】(灘黒岩水仙郷整備事業)

本辺地に立地する灘黒岩水仙郷は、標高608mの諭鶴羽山の海に続く45度の急斜面約7haにわたって500万本の水仙が群生し、房総半島、越前海岸と並び日本三大群生地の一つに数えられ、観光資源に乏しい本辺地の地域活性化のための重要な拠点施設である。

しかしながら、水仙生育環境の悪化等により、開花率が著しく低下しつつあり、近年入場者数が激減している。加えて、昭和52年に建設された非耐震構造の管理棟は、施設の老朽化が深刻な課題となっており、新築時の仕様が時代に合わなくなってきたことなどの理由から、再整備が急務となっている。

本事業により、花立ちの悪くなった園地の環境改善及び、老朽化施設の建替え等による利用者の安全性、利便性の確保を行い、また、淡路一周サイクリングアワイチの休憩施設、地元特産物のPR拠点等としての機能などを新たに設け、観光拠点として再整備し、地域の活性化を図る。

別記第 1 号様式

3 公共的施設の整備計画

平成 3 0 年度から令和 7 年度 8 年間

(変更前 平成 3 0 年度から令和 3 年度 4 年間)

(単位 千円)

| 施設名 | 事業 主体名 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | 一般財源のう ち辺地対策事 業債の予定額 |
|------------|-----------|---------------------|---------|---------------------|----------------------------|
| | | | 特定財源 | 一般財源 | |
| 道路防災 施設 | 南あわじ市 | 17,500 (14,000) | | 17,500 (14,000) | 17,500 (14,000) |
| 園地施設 | 南あわじ市 | 763,000 | | 763,000 | 763,000 |
| 合 計 | | 780,500 (14,000) | | 780,500 (14,000) | 780,500 (14,000) |

上段：変更後 下段：(変更前)

(別表第1) 年次別計画表

市町名 南あわじ市

辺地名 吉野・惣川・黒岩・白崎・来川

(単位:千円)

| 事業名 | 事業内容 | 全体 | | | 平成30年度 | | | 令和元年度 | | | 令和2年度 | | | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-------------|-----------|---------|------|---------|---------|-------|------|-------|---------|-------|-------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|---------|---------|-------|---------|---------|
| | | 事業費 | 財源内訳 | | 辺地対策事業債 | 事業費 | 財源内訳 | | 辺地対策事業債 | 事業費 | 財源内訳 | | 辺地対策事業債 | 事業費 | 財源内訳 | | 辺地対策事業債 | 事業費 | 財源内訳 | | 辺地対策事業債 | |
| | | | 特定財源 | 一般財源 | | | 特定財源 | 一般財源 | | | 特定財源 | 一般財源 | | | 特定財源 | 一般財源 | | | 特定財源 | 一般財源 | | |
| 市単独道路橋梁維持事業 | 落石防護柵設置工事 | 17,500 | | 17,500 | 17,500 | 3,500 | | 3,500 | 3,500 | 3,500 | | 3,500 | 3,500 | 3,500 | | 3,500 | 3,500 | 3,500 | | 3,500 | 3,500 | |
| 瀬黒岩水仙郷整備事業 | 建築工事 | 763,000 | | 763,000 | 763,000 | | | | | | | | | | 199,500 | | 199,500 | 199,500 | 355,500 | | 355,500 | 355,500 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | | 780,500 | | 780,500 | 780,500 | 3,500 | | 3,500 | 3,500 | 3,500 | | 3,500 | 3,500 | 3,500 | 203,000 | | 203,000 | 203,000 | 359,000 | | 359,000 | 359,000 |

| 事業名 | 事業内容 | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-----------|---------|------|---------|---------|--------|------|--------|---------|--------|------|--------|---------|-----|------|------|---------|-----|------|------|---------|--|
| | | 事業費 | 財源内訳 | | 辺地対策事業債 | 事業費 | 財源内訳 | | 辺地対策事業債 | 事業費 | 財源内訳 | | 辺地対策事業債 | 事業費 | 財源内訳 | | 辺地対策事業債 | 事業費 | 財源内訳 | | 辺地対策事業債 | |
| | | | 特定財源 | 一般財源 | | | 特定財源 | 一般財源 | | | 特定財源 | 一般財源 | | | 特定財源 | 一般財源 | | | 特定財源 | 一般財源 | | |
| 市単独道路橋梁維持事業 | 落石防護柵設置工事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 瀬黒岩水仙郷整備事業 | 建築工事 | 174,000 | | 174,000 | 174,000 | 17,000 | | 17,000 | 17,000 | 17,000 | | 17,000 | 17,000 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | | 174,000 | | 174,000 | 174,000 | 17,000 | | 17,000 | 17,000 | 17,000 | | 17,000 | 17,000 | | | | | | | | | |

(記載要領)

- 1 辺地ごとに作成すること。
- 2 事業名には、具体的名称(町道○○線等)をあげること。
- 3 事業内容については、計画期間内のものを記載すること。
- 4 本表の辺地対策事業債の算出にあたっては、100%充当とすること。

事業計画位置図



吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地
 【市単独道路橋梁維持事業】落石防護柵設置工事
 【灘黒岩水仙郷整備事業】建築工事

吉野・惣川・黒岩・
 白崎・来川辺地

記号

| | | | | | |
|---|------------|---|------------|---|------------|
| ○ | 市庁舎 | ● | 町庁舎 | ▲ | 村庁舎 |
| □ | 市界 | ■ | 町界 | ▲ | 村界 |
| ○ | 市立小中学校 | ○ | 町立小中学校 | ○ | 村立小中学校 |
| ○ | 市立幼稚園 | ○ | 町立幼稚園 | ○ | 村立幼稚園 |
| ○ | 市立図書館 | ○ | 町立図書館 | ○ | 村立図書館 |
| ○ | 市立公民館 | ○ | 町立公民館 | ○ | 村立公民館 |
| ○ | 市立体育館 | ○ | 町立体育館 | ○ | 村立体育館 |
| ○ | 市立老人福祉センター | ○ | 町立老人福祉センター | ○ | 村立老人福祉センター |
| ○ | 市立児童遊園地 | ○ | 町立児童遊園地 | ○ | 村立児童遊園地 |
| ○ | 市立公園 | ○ | 町立公園 | ○ | 村立公園 |
| ○ | 市立スポーツセンター | ○ | 町立スポーツセンター | ○ | 村立スポーツセンター |
| ○ | 市立市民会館 | ○ | 町立市民会館 | ○ | 村立市民会館 |
| ○ | 市立市民センター | ○ | 町立市民センター | ○ | 村立市民センター |
| ○ | 市立市民ホール | ○ | 町立市民ホール | ○ | 村立市民ホール |
| ○ | 市立市民プラザ | ○ | 町立市民プラザ | ○ | 村立市民プラザ |
| ○ | 市立市民センター | ○ | 町立市民センター | ○ | 村立市民センター |
| ○ | 市立市民ホール | ○ | 町立市民ホール | ○ | 村立市民ホール |
| ○ | 市立市民プラザ | ○ | 町立市民プラザ | ○ | 村立市民プラザ |

凡例

| | |
|---|-------|
| — | 国道路 |
| — | 主要地方道 |
| — | 一般国道 |
| — | 主要地方道 |
| — | 一般地方道 |
| — | 河川 |
| — | 海岸線 |
| — | 境界線 |
| — | 市界 |
| — | 町界 |
| — | 村界 |
| — | 市界 |
| — | 町界 |
| — | 村界 |

1:25,000

事業計画位置図

吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地



【市単独道路橋梁維持事業】
落石防護柵設置工事

【灘黒岩水仙郷整備事業】
建築工事

(別表第2)

辺地総合整備計画策定(変更)に係る理由書

| 市 町 名 | 南あわじ市 | 辺 地 名 | 吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地 |
|--|-------|-------|------------------|
| <p>○辺地の概要</p> <p>当該辺地地区は市の南部に位置し、灘地域の東部の海岸沿いにある漁村集落で、世帯数82戸、人口167人、面積7.4㎢の辺地である。</p> | | | |
| <p>道路防災施設 (市単独道路橋梁維持事業)</p> | | | |
| <p>①必要性</p> <p>当該辺地集落へ通ずる市道である市道白崎本線は、当地区住民や、当地区への訪問者にとって、通行できる唯一の生活基幹道路となっている。</p> | | | |
| <p>②緊急性</p> <p>比較的多量の降雨時、また風水害時において山側より土砂が本道路に崩落し、通行止めなど車両通行に支障をきたしている。</p> <p>特に災害時は、緊急輸送物資の搬入や、応急的な復旧に際し緊急車両等の通行確保が重要かつ不可欠であることから、早急に整備する必要がある。</p> | | | |
| <p>③事業効果</p> <p>道路防災施設(落石防護柵)を整備することにより、道路への崩土が抑止され、良好な通行が確保されるとともに、災害時における迅速かつ効率的な復旧作業も可能となる。</p> | | | |
| <p>園地施設 (灘黒岩水仙郷整備事業)</p> | | | |
| <p>①必要性</p> <p>本辺地に立地する灘黒岩水仙郷は、標高608mの諭鶴羽山の海に続く45度の急斜面約7haにわたって500万本の水仙が群生し、房総半島、越前海岸と並び日本三大群生地の中の1つに数えられ、観光資源に乏しい本辺地の地域活性化のための重要な拠点施設である。</p> | | | |
| <p>②緊急性</p> <p>近年の水仙生育環境の悪化等により、開花率が著しく低下しつつあり、入場者数が激減している。加えて、昭和52年に建設された非耐震構造の管理棟は、施設の老朽化が深刻な課題となっており、新築時の仕様が時代に合わなくなってきたことなどの理由から、再整備が急務となっている。</p> | | | |
| <p>③事業効果</p> <p>本事業により、花立ちの悪くなった園地の環境改善及び、老朽化施設の建替え等による</p> | | | |

利用者の安全性、利便性の確保を行い、また、淡路一周サイクリングアワイチの休憩施設、地元特産物のPR拠点等としての機能などを新たに設け観光拠点として再整備し、地域の活性化を図る。

上記2事業について、総合的に整備することにより、本地域の振興に大きく寄与することができる。

(記載要領)

まず、総論について記述し、その後各事業ごと(道路なら個別路線ごと)に、①必要性、②緊急性、③効果について詳述すること。

辺地にかかる公共的施設の総合的な整備計画の変更について（新旧対照表）

| 変更前 | 変更後 |
|---|---|
| <p style="text-align: center;">総合整備計画</p> <p style="text-align: center;">兵庫県 南あわじ市 <u>白崎・来川辺地</u> (辺地の人口 <u>65</u>人 面積 <u>1.4</u> k m²)</p> <p>1 辺地の概況</p> <p>(1) 辺地を構成する市（町）又は字の名称 南あわじ市灘白崎、灘来川</p> <p>(2) 地域の中心の位置 南あわじ市<u>灘白崎 232 番地</u></p> <p>(3) 辺地度点数 <u>186</u>点</p> <p>2 公共的施設の整備を必要とする事情</p> <p><u>白崎・来川辺地は市の南西部に位置し、灘地域の西部で山間部にある集落である。</u></p> <p>【道路防災施設】（市単独道路橋梁維持事業）</p> <p>当該辺地地区は、当集落へ通ずる唯一の市道である市道白崎本線を生活基幹道路として通行しているが、比較的多量の降雨時、また風水害時において山側より土砂が本道路に崩落し、通行止めなど車両通行に支障をきたしている。</p> <p>特に災害時は、緊急輸送物資の搬入や、応急的な復旧に際し緊急</p> | <p style="text-align: center;">総合整備計画</p> <p style="text-align: center;">兵庫県 南あわじ市 <u>吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地</u> (辺地の人口 <u>167</u>人 面積 <u>7.4</u> k m²)</p> <p>1 辺地の概況</p> <p>(1) 辺地を構成する市又は字の名称 南あわじ市<u>灘吉野、灘惣川、灘黒岩、灘白崎、灘来川</u></p> <p>(2) 地域の中心の位置 南あわじ市<u>灘吉野 400 番地</u></p> <p>(3) 辺地度点数 <u>128</u>点</p> <p>2 公共的施設の整備を必要とする事情</p> <p><u>吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地は市の南部に位置し、灘地域の中部で海岸沿いにある漁村集落である。</u></p> <p>【道路防災施設】（市単独道路橋梁維持事業）</p> <p>当該辺地地区は、集落へ通ずる唯一の市道である市道白崎本線を生活基幹道路として通行しているが、比較的多量の降雨時、また風水害時において山側より土砂が本道路に崩落し、通行止めなど車両通行に支障をきたしている。</p> <p>特に災害時は、緊急輸送物資の搬入や、応急的な復旧に際し緊急</p> |

車両等の通行確保が重要かつ不可欠であることから、早急に整備する必要がある。

道路防災施設（落石防護柵）を整備することにより、道路への崩土が抑止され、良好な通行が確保されるとともに、災害時における迅速かつ効率的な復旧作業も可能となり、地域住民に安心感を与え、地域の振興に大きく寄与することができる。

車両等の通行確保が重要かつ不可欠であることから、早急に整備する必要がある。

道路防災施設（落石防護柵）を整備することにより、道路への崩土が抑止され、良好な通行が確保されるとともに、災害時における迅速かつ効率的な復旧作業も可能となる。

【園地施設】（灘黒岩水仙郷整備事業）

本辺地に立地する灘黒岩水仙郷は、標高608mの諭鶴羽山の海に続く45度の急斜面約7haにわたって500万本の水仙が群生し、房総半島、越前海岸と並び日本三大群生地の一つに数えられ、観光資源に乏しい本辺地の地域活性化のための重要な拠点施設である。

しかしながら、水仙生育環境の悪化等により、開花率が著しく低下しつつあり、近年入場者数が激減している。加えて、昭和50年に建設された非耐震構造の管理棟は、施設の老朽化が深刻な課題となっており、新築時の仕様が時代に合わなくなってきたことなどの理由から、再整備が急務となっている。

本事業により、花立ちの悪くなった園地の環境改善及び、老朽化施設の建替え等による利用者の安全性、利便性の確保を行い、また、淡路一周サイクリングアワイチの休憩施設、地元特産物のPR拠点等としての機能などを新たに設け、観光拠点として再整備し、地域の活性化を図る。

3 公共的施設の整備計画

平成30年度から平成33年度まで 4年間

(単位 千円)

| 施設名 | 事業 主体名 | 事業費 | 財源内訳 | | 一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額 |
|------------|-----------|---------------|----------|---------------|----------------------------|
| | | | 特定 財源 | 一般 財源 | |
| 道路防災 施設 | 南あわ じ市 | <u>14,000</u> | 0 | <u>14,000</u> | <u>14,000</u> |
| 合計 | | <u>14,000</u> | 0 | <u>14,000</u> | <u>14,000</u> |

3 公共的施設の整備計画

平成30年度から令和7年度 8年間

(変更前 平成30年度から令和3年度 4年間)

(単位 千円)

| 施設名 | 事業 主体名 | 事業費 | 財源内訳 | | 一般財源のうち 辺地対策 事業債 の予定額 |
|------------|-----------|-----------------------------------|----------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| | | | 特定 財源 | 一般 財源 | |
| 道路防災 施設 | 南あわ じ市 | <u>17,500</u> <u>(14,000)</u> | 0 | <u>17,500</u> <u>(14,000)</u> | <u>17,500</u> <u>(14,000)</u> |
| 園地施設 | 南あわ じ市 | <u>763,000</u> | 0 | <u>763,000</u> | <u>763,000</u> |
| 合計 | | <u>780,500</u> <u>(14,000)</u> | 0 | <u>780,500</u> <u>(14,000)</u> | <u>780,500</u> <u>(14,000)</u> |

上段：変更後 下段：(変更前)

議案第 37 号

市道路線の認定について

下記の路線を認定したいので、道路法（昭和 27 年法律第 180 号）第 8 条第 2 項の規定により、議会の議決を求める。

令和 3 年 2 月 24 日提出

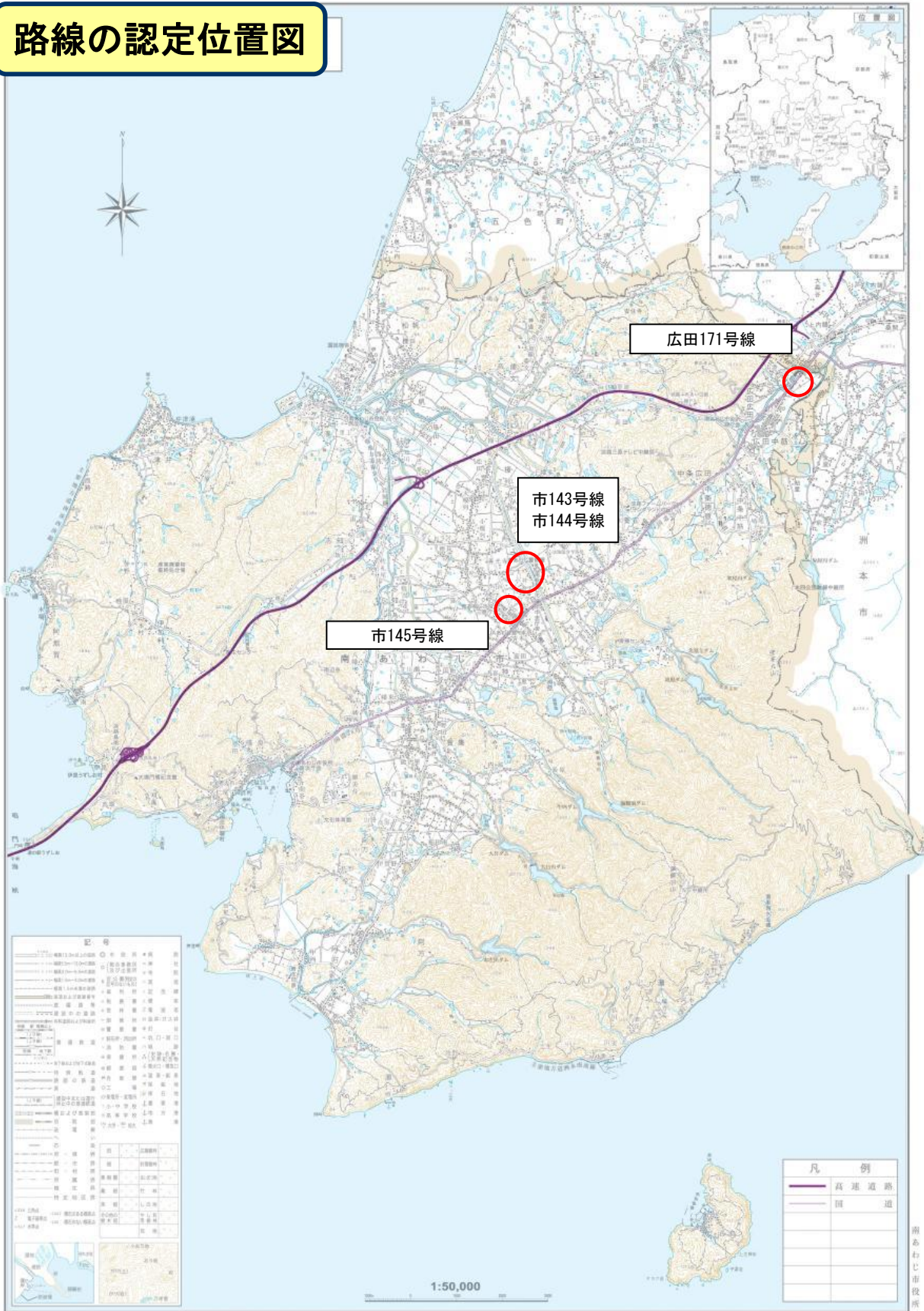
南あわじ市長 守 本 憲 弘

記

認定する路線

| 路線名 | 起点 | 終点 | 重要な 経過地 | 備考 |
|-----------|-------------------------|-------------------------|------------|----|
| 広田 171 号線 | 南あわじ市山添 97 番 7 地先 | 南あわじ市山添 97 番 12 地先 | | |
| 市 143 号線 | 南あわじ市市善光寺 99 番 14 地先 | 南あわじ市市善光寺 99 番 1 地先 | | |
| 市 144 号線 | 南あわじ市市善光寺 99 番 18 地先 | 南あわじ市市善光寺 99 番 26 地先 | | |
| 市 145 号線 | 南あわじ市市福永 424 番 1 地先 | 南あわじ市市福永 424 番 6 地先 | | |

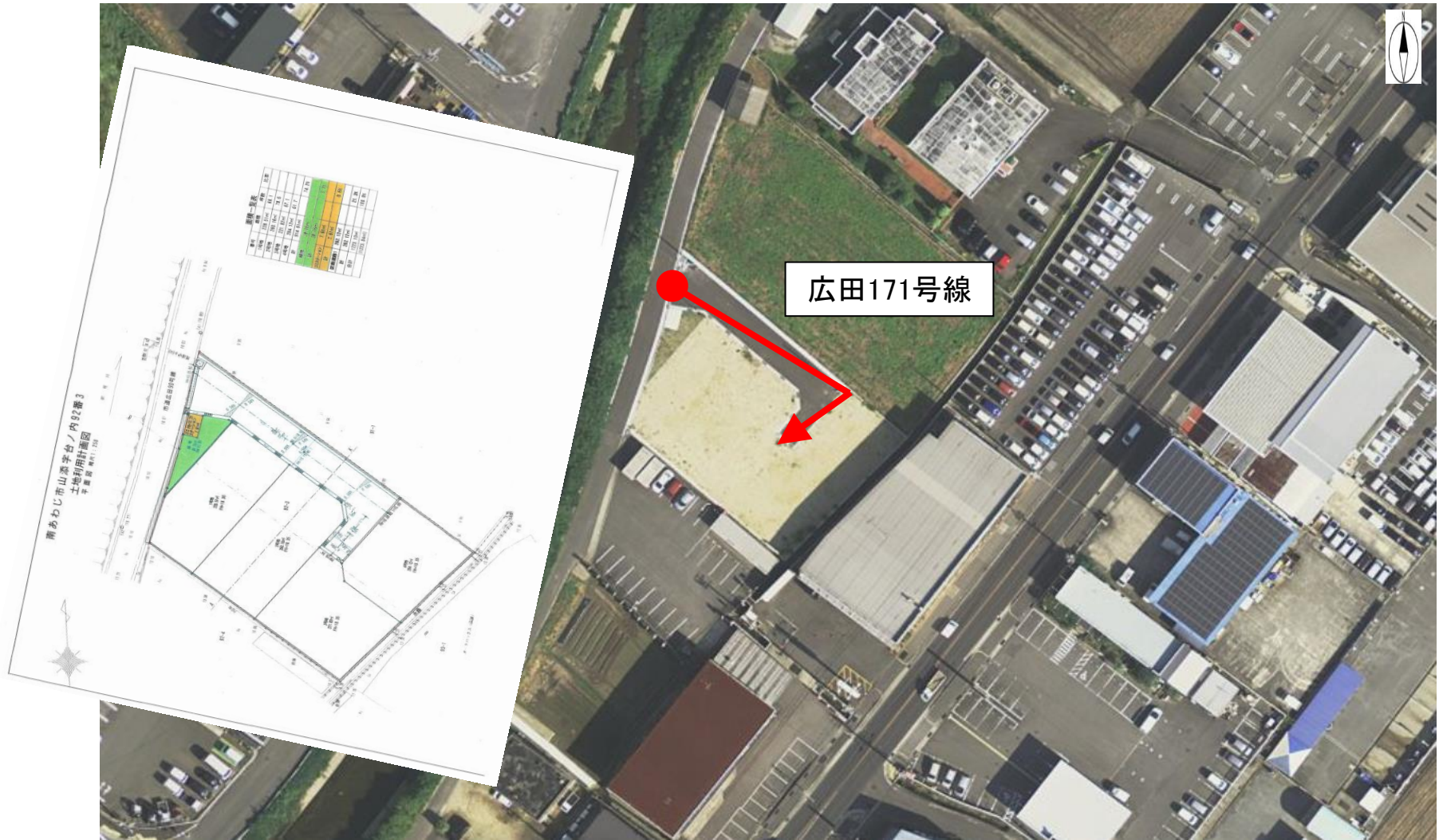
路線の認定位置図



この地図は、国土院提供の地形図を基に、市役所が作成したものであり、正確性を保証するものではありません。詳細は、市役所、国土院に問い合わせください。

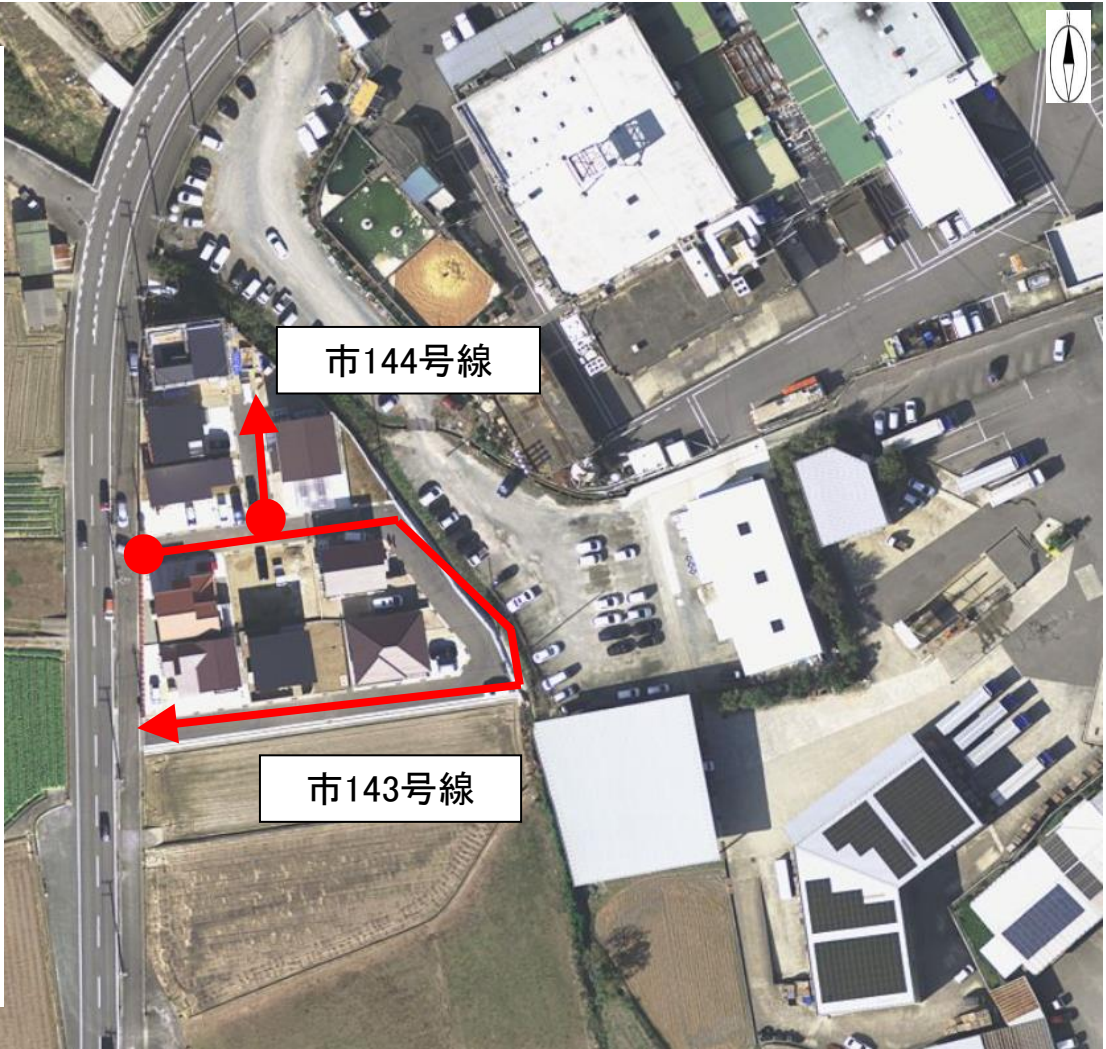
資料：国土院提供の地形図（2023年現在）

認定路線



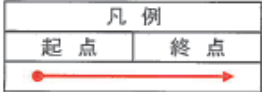
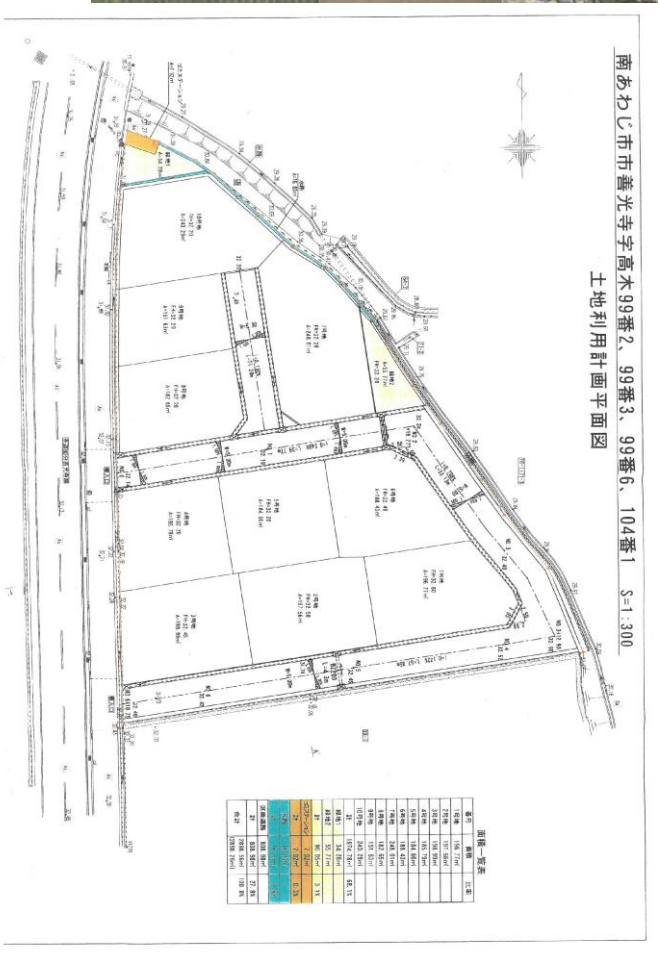
| 凡例 | |
|----|----|
| 起点 | 終点 |
| → | |

認定路線

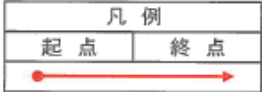
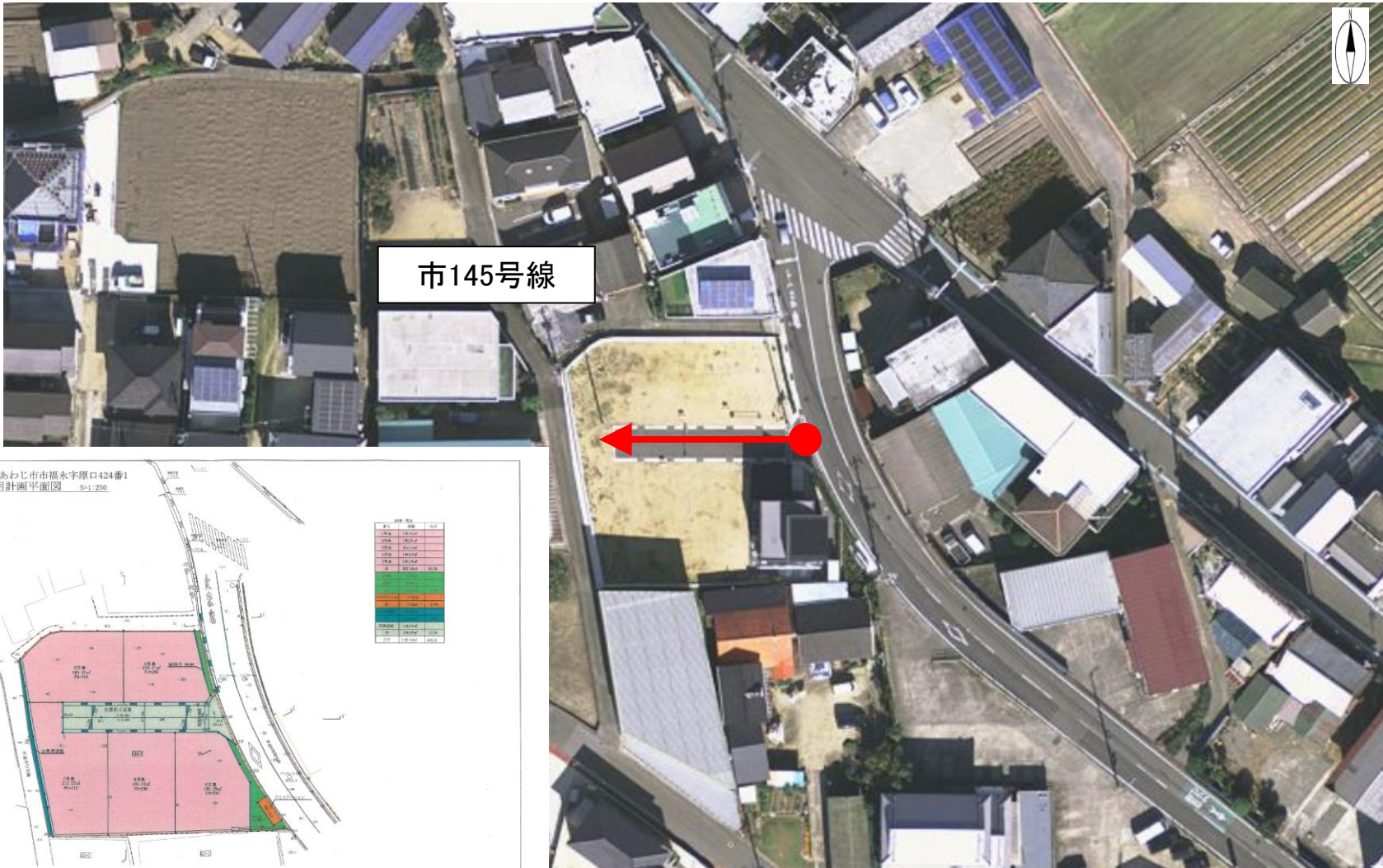


市144号線

市143号線



認定路線



議案第 38 号

市道路線の変更について

下記の路線を変更したいので、道路法（昭和 27 年法律第 180 号）第 10 条第 3 項の規定により、議会の議決を求める。

令和 3 年 2 月 24 日提出

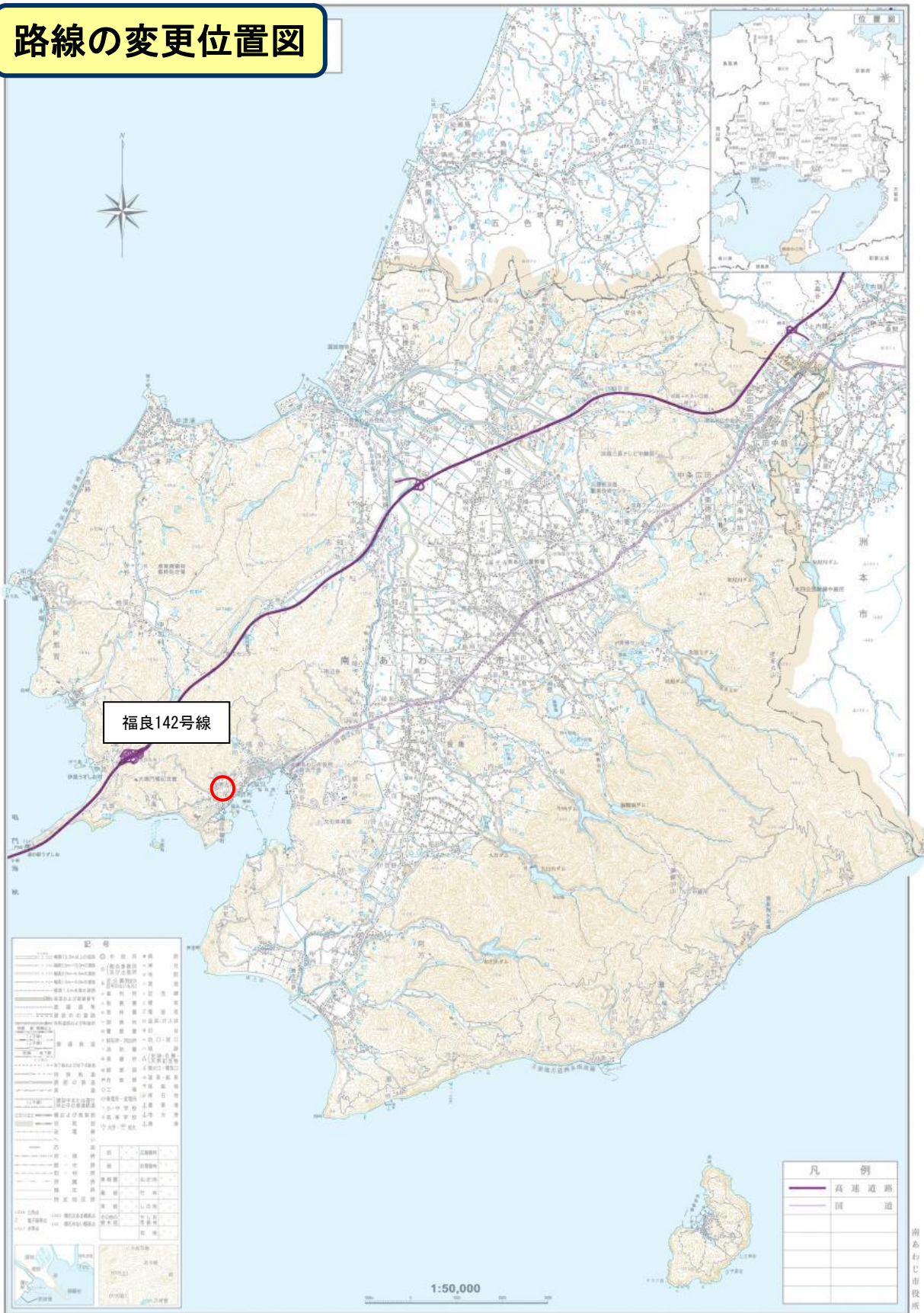
南あわじ市長 守 本 憲 弘

記

変更する路線

| 変更前 | | | 変更後 | | |
|-----------|-----|--------------------------|-----------|-----|--------------------------|
| 路線名 | 起終点 | | 路線名 | 起終点 | |
| 福良 142 号線 | 起点 | 南あわじ市福良乙 1653 番 13 地先 | 福良 142 号線 | 起点 | 南あわじ市福良乙 1653 番 13 地先 |
| | 終点 | 南あわじ市福良乙 1653 番 2 地先 | | 終点 | 南あわじ市福良乙 1653 番 3 地先 |

路線の変更位置図



記号

| | | | |
|---|-----|-----|-----|
| ● | 市界 | 市界 | 市界 |
| ○ | 町界 | 町界 | 町界 |
| □ | 村界 | 村界 | 村界 |
| △ | 大字界 | 大字界 | 大字界 |
| ◇ | 支庁界 | 支庁界 | 支庁界 |
| ■ | 国界 | 国界 | 国界 |
| ▲ | 支庁界 | 支庁界 | 支庁界 |
| ● | 市界 | 市界 | 市界 |
| ○ | 町界 | 町界 | 町界 |
| □ | 村界 | 村界 | 村界 |
| △ | 大字界 | 大字界 | 大字界 |
| ◇ | 支庁界 | 支庁界 | 支庁界 |
| ■ | 国界 | 国界 | 国界 |
| ▲ | 支庁界 | 支庁界 | 支庁界 |

凡例

| | |
|---|------|
| — | 高速道路 |
| — | 国道 |
| — | |
| — | |
| — | |
| — | |

この地図は、国土院提供の地形図を基に作成したものであり、正確性を保証するものではありません。また、この地図は、南あわじ市役所によって作成されたものであり、南あわじ市役所の責任において提供されています。

変更路線



| 凡例 | | |
|-----|----|----|
| | 起点 | 終点 |
| 変更前 | | |
| 変更後 | | |

議案第 39 号

財産の取得について

南あわじ市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（平成 17 年南あわじ市条例第 46 号）第 3 条の規定に基づき、大鳴門橋周辺環境整備事業に係る土地取得について、下記の土地を取得したいので、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 96 条第 1 項第 8 号の規定により、議会の議決を求める。

令和 3 年 2 月 24 日提出

南あわじ市長 守 本 憲 弘

記

- | | | |
|---|--------|------------------------------|
| 1 | 取得の目的 | 大鳴門橋周辺環境整備事業に係る土地取得 |
| 2 | 取得する土地 | 南あわじ市福良字鳥取丙 9 4 7 番地 8 外 8 筆 |
| 3 | 地積 | 21,903 平方メートル |
| 4 | 取得金額 | 56,560,000 円 |
| 5 | 土地所有者等 | 兵庫県道路公社 |

取得物件一覧表

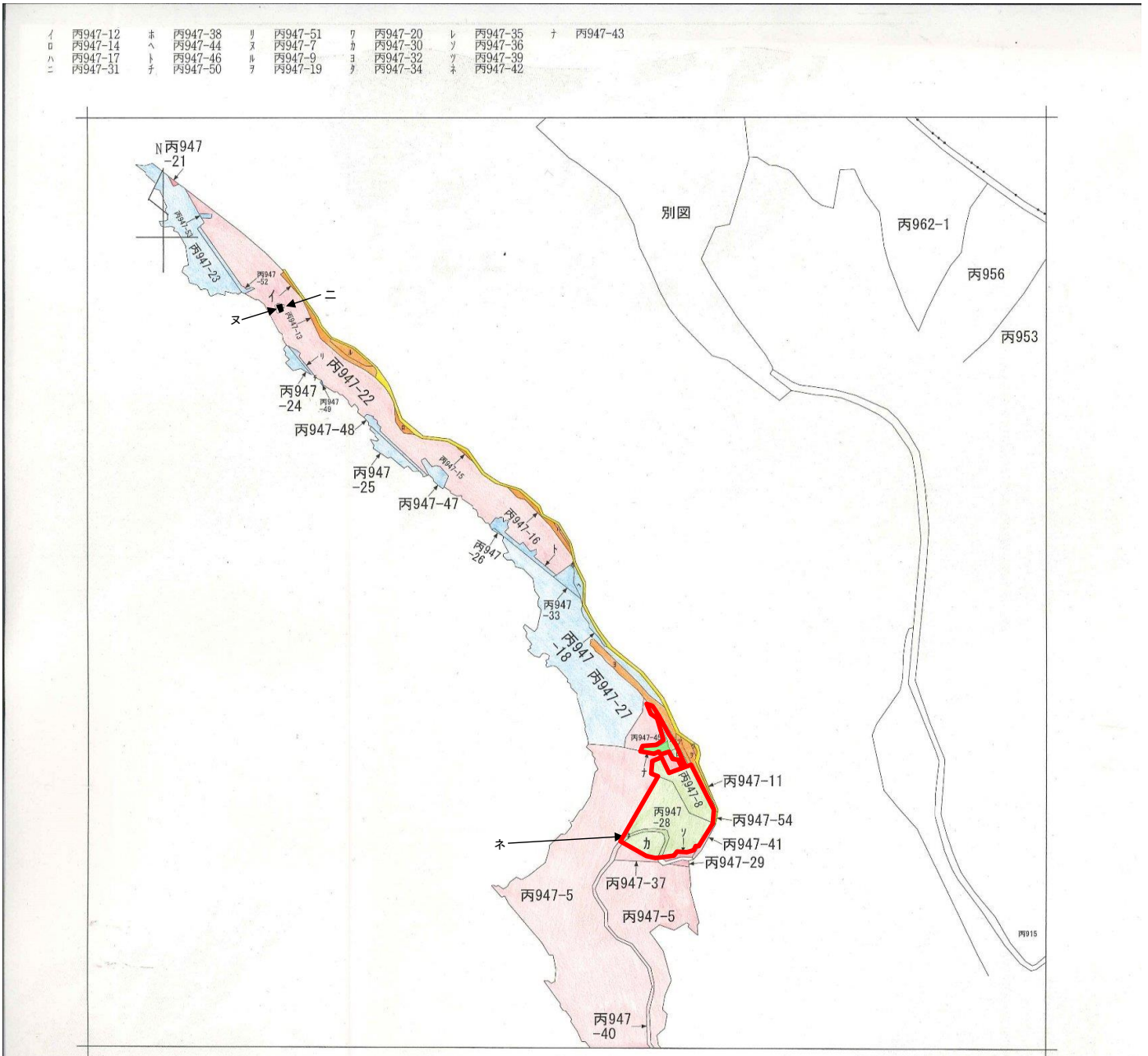
(1) 土地

| 所在地 | 登記地目 | 評価地目 | 面積 |
|---------------|------|-----------------|------------|
| 福良字鳥取丙947番地8 | 山林 | 種別:住宅地 類型:更地 | 5,810.00㎡ |
| 福良字鳥取丙947番地28 | 山林 | | 10,421.00㎡ |
| 福良字鳥取丙947番地30 | 山林 | | 2,537.00㎡ |
| 福良字鳥取丙947番地34 | 山林 | | 942.00㎡ |
| 福良字鳥取丙947番地35 | 山林 | | 565.00㎡ |
| 福良字鳥取丙947番地42 | 雑種地 | | 629.00㎡ |
| 福良字鳥取丙947番地43 | 山林 | | 336.00㎡ |
| 福良字鳥取丙947番地54 | 雑種地 | | 170.00㎡ |
| 阿那賀字伊毘839番地8 | 雑種地 | | 493.00㎡ |
| 合 計 | | | 21,903.00㎡ |

(2) 建物

| 用途 | 構造 | 面積 |
|------|--------------|---------|
| 便所 | 鉄筋コンクリート造平屋建 | 61.97㎡ |
| 休憩施設 | 鉄筋コンクリート造平屋建 | 131.23㎡ |
| 料金所 | 鉄筋コンクリート造平屋建 | 18.00㎡ |

取得予定土地地番表示図（1/2）



| ②兵庫県道路公社 | | | | | |
|----------|-----|---------|---------|--------|--------|
| 大字名 | 小字名 | 表示用地番 | 義務者名 | 登記地目名称 | 登記地積 |
| 福良 | 鳥取 | 丙947-8 | 兵庫県道路公社 | 山林 | 5,810 |
| 福良 | 鳥取 | 丙947-28 | 兵庫県道路公社 | 山林 | 10,421 |
| 福良 | 鳥取 | 丙947-30 | 兵庫県道路公社 | 山林 | 2,537 |
| 福良 | 鳥取 | 丙947-34 | 兵庫県道路公社 | 山林 | 942 |
| 福良 | 鳥取 | 丙947-35 | 兵庫県道路公社 | 山林 | 565 |
| 福良 | 鳥取 | 丙947-42 | 兵庫県道路公社 | 雑種地 | 629 |
| 福良 | 鳥取 | 丙947-43 | 兵庫県道路公社 | 山林 | 336 |
| 福良 | 鳥取 | 丙947-54 | 兵庫県道路公社 | 雑種地 | 170 |

取得予定土地地番表示図 (2/2)



| | | | | | |
|---------|-----|-------|---------|--------|------|
| 兵庫県道路公社 | | | | | |
| 大字名 | 小字名 | 表示用地番 | 義務者名 | 登記地目名称 | 登記地積 |
| 阿那賀 | 伊毘 | 839-8 | 兵庫県道路公社 | 雑種地 | 493 |